

# 事業評価シート（平成20年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	市民・企業・大学等交流事業		
事業担当	企画部 企画課		
予算科目	01-020106-050000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	01	1 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 市民団体等 <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市民、企業、大学などが相互に発展し、心豊かな地域社会となるよう、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われています。		市民、企業、大学などの交流を促進するため、文化・生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境などの各分野における交流事業の充実を図ります。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業数						単位	事業
	説明・算定式	交流事業数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	10	8	8	8	9	
	実績		10	10					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	交流事業参加者数						単位	人
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		16,600	16,650	8,450	8,450	8,450	8,450	
	実績		41,982	31,970					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。各事業が、大学の参加により活気あるものとなりました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と大学との交流事業を実施するに当たり、平塚市民・大学交流委員会の組織は必要なものであり、その中で本市が調整することによって、協働による事業が実施されています。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業計画・実施においては、平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会により、協議、実施しており、市民ニーズを取り込んだ満足度の高い事業です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	5つの推進部会により、10事業が実施され、参加者も多く妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民と大学との交流事業の実施に当たっては、経費節減に努めます。	○ 高 ● 中 ○ 低	

#### 今後に向けた課題の分析

市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度から、産業推進部会事業を発展的に担当課事業とし、新たに観光推進部会を設置し、研究と実践を目的とした事業を展開します。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業、神大との交流20周年記念事業	市民・大学交流委員会による交流事業等	市民・大学交流委員会による交流事業等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	2,215	2,030	2,138	3,138	2,138	2,138
事業費 (A)		0	2,215	2,030	2,138	3,138	2,138	2,138
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.60	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	5,035	5,035	4,178	4,178	4,178	4,178
フルコスト (A+B)		0	7,250	7,065	6,316	7,316	6,316	6,316

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ●拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<p>&lt;判断理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民と東海大学・神奈川大学と本市の交流は今後とも必要であり、平塚市民・大学交流委員会での事業推進を図っていきます。</li> <li>市と大学との交流においては、神奈川大学と交流20周年になることから、記念事業を実施します。</li> </ul>	
<p>平成22年度取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で9の事業を実施します。平成21年度から新たに加わった観光推進部会については研究と実践を進め、事業の充実を目指します。</li> <li>神奈川大学との交流20周年を記念した事業を実施します。</li> </ul>	
課長コメント	<p>本事業は、大学、企業などとの連携による幅広い分野における市民との交流環境を創出するもので、必要性は高いと考えます。時代に即した事業内容としていくことで、活発な交流を目指します。</p>

## 5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		平塚市民・大学交流委員会において、文化・生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施することを通じ、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われた。	平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。各事業が、大学の参加により活気あるものとなりました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しているが、事業内容についての見直しや新規事業の検討を行っていく必要がある。	市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度から、産業推進部会事業を発展的に担当課事業とし、新たに観光推進部会を設置し、研究と実践を目的とした事業を展開します。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	拡大して継続
取組方針		平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で10の事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で9の事業を実施します。平成21年度から新たに加わった観光推進部会については研究と実践を進め、事業の充実を目指します。</li> <li>神奈川大学との交流20周年を記念した事業を実施します。</li> </ul>
事業区分	—	実施計画事業／行政改革事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。